

蒲生干潟の地形調査③②

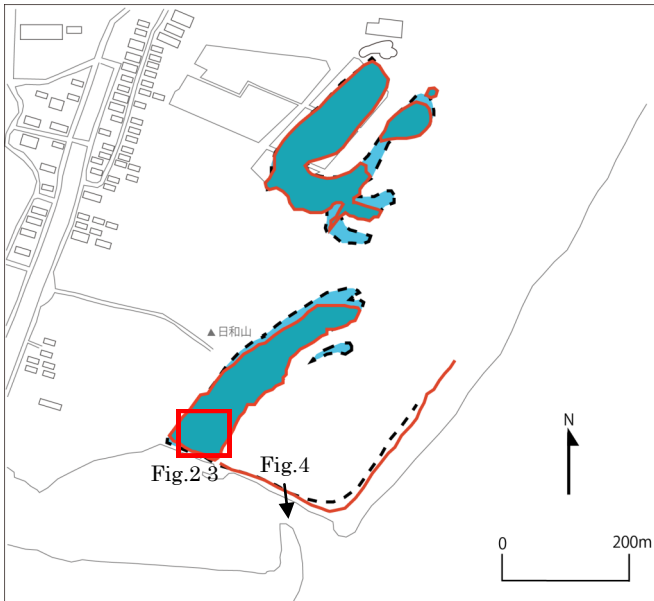


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.3 新たに作られた銀色の通水部分（南側より撮影）



Fig.2 黒色のパイプの通水部分（北側より撮影）



Fig.4 侵食により砂州が縮小した右岸（北側より撮影）

調査日 2018年4月11日（水）10：00～11：30 ※満潮時刻11：46（潮位100cm）

Fig.1で赤色の実線で示された部分はGPS簡易測量による4月の汀線であり、黒の破線で示された部分は3月のそれである。Fig.1からも分かるように3月の調査よりも更に潟湖の面積は縮小しており、更には北側の潟湖も2つに分断されていた。

□で囲まれた通水部分付近のえぐられたような形の地形も大きく変化していた。導流堤通水部分の工事は更に進行し、No.163号で報告した黒色のパイプ(Fig.2)とは別に潟湖側（北側）に新たな銀色の通水部分が作られていた(Fig.3)。このため、川と潟湖の通水の為には2箇所を通水部分を通さなくてはならない構造になっており、双方の通水ができにくくなっている状況となっていた。

河口付近では右岸側の堆積が進んでおり、砂州が大きく北側に拡大していた。このため河口が狭くなっていた(Fig.4)。